毎日新聞（日刊）　2005年（平成17年）2月26日（土曜日）

毎日新聞　（第3種郵便物認可）

知って得する暮らし百科

「スキミング」対策

キャッシュカードの磁気情報を不正に読み取り、偽造カードで預金を引き出す「スキミング」被害が広がっている。ＩＣ（集積回路）カードや体の一部で確認する「生体認証」の導入など、金融機関の対策はようやく始まったばかり。今、できる自衛策は？

【清水優子】

■あの手この手

東京三菱銀行は昨年10月、手のひらの静脈で本人確認するクレジットカード機能がついたＩＣキャッシュカードを導入。希望すれば本人以外にもう一人も手のひらの情報を登録できるため、公共料金の引き落としなど夫婦でカードを「共有」している場合は便利だ。「手のひら確認方式」は、ほかにスルガ銀行が昨年7月から、今夏からは池田銀行などが導入する。

ＩＣチップ内蔵のＩＣカードは、電子回路が高密度に集積し、生体認証のデータが記録可能。東京三菱銀行は「現在の技術では偽造は無理」と自信を見せる。ただし、ＩＣカードは対応ＡＴＭ（現金自動受払機）でしか利用できない。

引き出し限度額は、今のところ三井住友銀行が0～300万円に自由に設定できるが、一律300万円程度に定めているケースが大半だ。

◆大手各行の対応◆

	カードのＩＣ化	ＡＴＭ利用限度額の自由設定	生体認証
みずほ	3月7日から全面切り替え	05年度上期中	検討中
三井住友	2月21日に導入	ＡＴＭで自由に設定できる	検討中
東京三菱	昨年10月から導入	9月をめどに対応する予定	昨年10月から導入
ＵＦＪ	02年から導入	新型ＩＣカードで可能。他は6月めど	検討中
りそな	検討中	05年度中	検討中

ＩＣカードの手数料は▽みずほ＝9月まで無料、10月以降は1050円▽東京三菱＝4月から切り替わる新カードは被害補償がないものだけ2100円、クレジット機能付きは無料▽三井住友＝5月まで無料、6月から1050円▽ＵＦＪ＝2月中は1050円、3～6月末の申し込み分は無料、7月以降は未定

ＩＣ化／引き出し限度額下げ／生体認証…

■今できること

「銀行でカードを作った時点から、スキミングのリスクが発生すると覚悟して」。こう警告するNPO法人「日本情報安全管理協会」（東京都港区）の剣木博文・業務企画課長（26）。

「カードの暗証番号は金庫のカギと同じ。免許証など財布内のものから類推できる番号は避けるのが基本」。金融庁の被害実態調査では「生年月日」に関連する番号が41%で最も多かった。車のナンバーや住所の番地なども見破られやすい。

ＡＴＭで現金を下ろす際は、まず背後に気をつける。「接近して並ぶ人には堂々と注意して」と剣木さん。

暗証番号は複数の指で、できるだけ素早く押す。人さし指1本で押すと、指の動きで番号を知られやすい。押す際は、体や片方の手で手元を覆い隠すぐらい用心深く行う。特にコンビニエンスストアのＡＴＭは仕切りが不完全なものが多いので注意する。「最近は入力場所付近に直径0・7ミリ程度のレンズの小型カメラを設置して、離れた場所から映像を見て番号を見たり、込んだ電車内で財布や胸ポケットに小型録画をかざすだけで情報を盗むことも可能です」

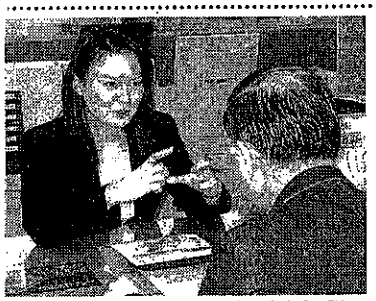
飲食店でトイレへ立つ際も財布が入った上着やバッグを手放さない。スキミングは「スキマー」と呼ばれる小型装置にカードを通すだけ。数秒で偽造カードを作れるのだ。

このほか、明細書も安易に捨てない。個人情報を割り出せるデータが明細書に記入されているＡＴＭもあるからだ。87年以前に作ったカードは、磁気データに暗証番号が入力されているので、対策を講じていない一部の金融機関では作り直したほうが安心だ。

万全を期すなら、まとまったお金を入れた口座ではカードを作らない。

佐藤健次・同協会事務局長（58）は「スキマーは簡単に入手できる。対策が後手に回った銀行も悪いが、どこでも金を引き出せるカードの利便性を享受する以上、預金者も保険料など何らかの対価を払うべきだ」と話す。

「好きな歌手は○合言葉まで登場」



スキミングに〝老テク〟で立ち向かう「盗人御用」口座。高齢者を中心に関心が高い＝巣鴨信用金庫本店で

■安心口座「盗人御用」

「おばあちゃんの原宿」で知られる東京・巣鴨に本店がある「巣鴨信用金庫」。16日に登場した新口座「がんじがらめの安心口座　盗人御用」は、キャッシュカードは作らず、契約時に登録した「合言葉」で本人確認を行う。

合言葉は▽好きな歌手▽隣家の名前▽好物▽趣味――の五つ。引き出しは契約店舗の窓口で本人のみ。出金のたび、通帳と印鑑、運転免許証など顔写真付き証明書を提示。それでも怪しい場合、切り札として合言葉を尋ねる。手数料は年1260円だ。

同金庫は個人預金の54%が60歳以上。ゴルフ場でのスキミング事件の発覚後、「キャッシュカードを返したい」という声が寄せられた。田中実・創合企画部長（57）は「生体認証も検討しているが時間がかかる。地域金融機関の原点であるきめ細かい対面サービスに戻した」。初日の契約数は12件。大手行から1000万円を超える預金の移し替えもあったという。

高齢者ら「カード返したい」